

令和6年度 飯田小学校 学校評価報告書

I 令和6年度の本校の取組み

やさしい子

自分から学ぶ子

たくましい子

誰にでも笑顔で接し、優しく思いやりのある子
 ○コミュニケーション能力の育成
 ・思いを言葉で表現する指導
 ・「やはた行動」の定着
 ○思いやりの心の育成
 ・温かな人間関係づくり
 ・いじめ早期発見と解決
 ○規範意識の育成
 ・「飯田小学校の1日の学校生活」の定着
 ・道徳教育の充実

人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子
 ○「教育の情報化」の推進
 ・SNSノートはままつの活用
 ・教科指導におけるITC活用
 ○子供が夢中になる授業
 ・粘り強く考え、学びを深める子供の育成に向けた授業改善
 ・地域人材を活用した、将来に繋がる学び
 ○基礎基本の定着
 ・学習習慣作りの指導
 ・「粘り強く考える子の約束」

たくましい心と体を持ち、進んで頑張る子
 ○安全安心の学校生活
 ・校内事故を減減らす取り組み
 ・迅速な緊急対応
 ○夢を追う活動の推進
 ・「夢を追う先輩」について学ぶ機会の充実
 ・夢に関わる集会の充実
 ○自らを高める活動の推進
 ・自己記録の向上を目指す行事や活動の推進
 ・生涯スポーツの入り口として運動に親しむ体制づくり

II 自己評価

肯定評価の割合

令和5年度

			肯定評価の割合			令和5年度		
			児童	保護者	教員	児童	保護者	教員
やさしい子	1	あいさつの習慣が身に付いている。	83.9%	87.1%	58.1%	80.7%	88.6%	62.0%
	2	正しい言葉遣いで生活している。	82.4%	76.9%	54.8%	78.4%	75.2%	68.0%
	3	生命を大切に、思いやりをもって人に接している。	91.9%	96.5%	93.5%	91.1%	97.1%	93.0%
自ら学ぶ子	1	人の話をよく聴いたり、自分の意見や考えを話したりしている。	87.1%	81.8%	74.2%	84.3%	80.7%	84.0%
	2	授業を通して「わかった」「できた」「成長した」と感じている。	93.2%	85.9%	90.3%	86.2%	87.1%	96.0%
	3	学校で勉強したことが、自分の将来に役に立っていると考えている。	93.4%	73.9%	80.6%	88.8%	70.2%	87.0%
たくましい子	1	夢やめあてをもち、進んで活動に取り組んでいる。	93.4%	76.5%	96.8%	89.8%	71.5%	90.0%
	2	校内で安全に過ごしたり、交通ルールを守ったりしている。	96.1%	94.9%	71.0%	95.8%	95.4%	81.0%
	3	基本的な生活習慣や衛生習慣が身に付いている。	90.8%	90.6%	90.3%	86.4%	88.2%	90.0%

III 分析・考察

- 日々の生活の中で気持ちのよいあいさつができる児童が増えてきたが、さらに時と場に合ったあいさつができるようにしていきたい。また、「正しい言葉遣いで生活している」については、達成率が8割に届かない結果となり、正しい言葉遣いが意識できるように来年度は重点目標に掲げ、取り組んでいく必要がある。
- 「生命を大切に、思いやりをもって人に接している。」では、保護者は96%、児童も92%と高かった。これからも子供たちが安全に安心して生活ができる学校環境づくりやいじめの早期発見と解決を進め、笑顔で穏やかに接する子供が増えるよう支援に取り組んでいきたい。
- 「人の話をよく聴いたり、自分の意見や考えを話したりしている。」に関してはまだ改善が必要と思われる。来年度重点目標に掲げ、自分の考えをもち、伝え合いができるような学習や活動に取り組んでいく必要がある。
- 「夢やめあてをもち、進んで活動に取り組んでいる」が、昨年度よりは上がっているが、保護者の評価はまだ80%を下回る結果となった。保護者や地域の方に、学校での取り組みを広めていく必要がある。

IV 学校運営協議会における学校関係者評価

- いじめについては、気になる表れを未然に防止すること、小さいうちに対応していくことが大切で、一つ一つ丁寧に行っている。早め早めの対応をしてきていると思う。
- ホームページ等での情報発信はしているが、協議内容について、PTAや自治会にさらに情報が広まるよう工夫していきたい。
- 浜松市の見守りボランティアの話を再度伺ったので、地域や民生委員等の会合においても流布していきたいと思う。
- 今後、どのように保護者や地域の人材を活用していくのか具体的に示されてきたが実際にどの程度活動ができるのかを見極め

☆ 今後の改善方策

- 各教科の授業とキャリア教育との関連を深め、体験的な授業を行い、学びと実生活がつながるような取り組みを進める。
- いじめ基本方針については、HPの掲載の他に、PTA総会や懇談会等で保護者に確実に知らせる。
- CSを活用し、地域の大人ともっと触れ合う機会を増やしたり、保護者や地域の方にもっと学校に来ていただける機会を増やす。本校独自の「夢を飛ばそう集会」や「夢を語ろう集会」などを見て、子供たちの夢や活動等分かってもらおう。